

## 市長の選挙公約である 農業短大のような高等教育機関は本当に必要か

農業や医療・福祉分野を将来にわたり支えていくために必要

市民クラブ代表質問 一括質問・一括答弁方式



彦坂 久伸 議員  
市民クラブ

### ■所信表明と選挙公約について

**問** 前市長が編成した平成27年度予算に対する市長のスタンスは。

**答** 今後さらに充実すべき事業、新規に実施すべき事業を整理し、それらの必要経費が確定したところで、補正予算あるいは来年度の当初予算に計上したい。

**問** 地方創生総合戦略の策定、推進に対する市長の意気込みは。

**答** 地域活性化や人口減少対策について、各種計画等に基づき取り組んできた施策を加速させることはできないか、また、新たな発想、新たな枠組みの方策を生み出せないか、いろいろな分野の方の意見を伺いながら、知恵を絞っていく。

**問** 総合的な防災対策に対する市長の認識・取り組みは。

**答** 県の被害想定や市の調査を加味しながら、本市の脆弱性を評価し、本年度において、国土強靱化地域計画及び津波防災地域づくり推進計画を策定し、防災力の総合的な強化に努めていく。

**問** 「学校全体配置計画」についての市長の認識は。

**答** 計画は、今後10年間を計画期間としているが、状況に応じて見直しを図っていく。

**問** 農業短大のような高等教育機関が本当に必要か。

**答** 農業や医療・福祉分野を将来にわたり支えていくためには、地元の人材を育成し、できるだけ地元で活躍してもらうことが必要。

## 放課後子ども教室で、学校施設の徹底活用は

学校とよく協議し、余裕教室等の活用を図る

一問一答方式



辻 史子 議員  
公明党田原市議団

### ■「放課後子ども総合プラン」の推進について

**問** 放課後児童クラブ、放課後子ども教室の実施施設、活動スペース等の状況は。

**答** 実施施設は、学校(2)、市民館(14)、自治会集会所(2)。一人当たりの活動スペースは4.06㎡となっている。(条例の基準値：1.65㎡)

**問** 障害を持つ児童への対応は。

**答** 指導員を増やして対応している。

**問** 利用希望者数と待機児童の状況は。

**答** 本年度、通年の利用希望者585人のうち待機児童は17人。夏休みの利用希望者229人は、全員受け入れを予定している。

**問** 待機児童の中には、保護者の就労時間や障害を持

つ児童など、家庭の事情による利用希望もあるが、全希望者の受け入れはできないのか。

**答** 開設場所、指導員の確保に努め、早期解消を図る。

**問** 「放課後子ども総合プラン」で国が示す放課後の居場所の確保、学校施設の徹底活用について、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 学校とよく協議し、余裕教室等の活用を図り、より身近で安全な実施場所の確保に努める。

#### ※放課後子ども総合プラン…

全ての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行う事ができるよう、放課後児童クラブ及び子ども教室の計画的な整備等を進めるもの。



教室の様子